

# 『そして父になる』

## 血縁を超えた家族の絆



野々宮家
（主人公家族）

- 当初は血縁関係を絶対視
- 血のつながりのない息子との6年間の絆
- 「家族」の意味を問い直していく



斎木家

- 血縁関係にこだわらない
- 両方の子どもに対して平等で深い愛情

⇒ 現代社会における多様な家族の形を映し出す鏡

## 父親像の変容と成長の物語

⇒「父親になる」ことの本質に向き合う



主人公・
野々宮良多

- 父親としての変化
- 少しずつ変化する

変化の過程

- 慶多が撮りためていた写真
- 琉晴が環境に馴染めず家出

## 繊細な演技と日常の美しさ

俳優陣

- 子役たち：演技が秀逸
- 野々宮良多：福山雅治が演じる



日常の何気ないシーン

- 温かな雰囲気
- 静かなカメラワーク

結末の曖昧さ

- 見る側それぞれの解釈